

マーケットの動き (2023年7月31日～8月4日)

先週の国内株式市場は、前週末比で下落しました。

週前半は日銀長短金利操作の運用柔軟化が決定されましたが、臨時的国債買い入れオペを2度実施するなど金利上昇を抑制する動きをみせたことから、円安・米ドル高が進み国内株式は上昇しました。週後半は米国国債の格下げや欧米金利上昇により利益確定売りの動きが強まったほか、円高・米ドル安に転じたことも重石となり、国内株式は下落して週を終えました。

投資環境見通し (2023年8月)

国内株式相場は堅調に推移

企業業績については、依然として円安水準が続いていることに加えて、訪日外国人観光客による消費のさらなる拡大、賃上げやコロナ禍での過剰貯蓄を背景とした内需押し上げから、堅調に推移するとみています。国内株式相場は、良好な企業業績見通しに加え、日銀の金融緩和姿勢を背景に引き続き堅調に推移するとみています。ただし、これまでの上昇相場においてこれらの材料については相当程度織り込まれた可能性もあり、米国や欧州において金融政策の先行きに対する不透明感から株式相場が下落する場面では国内株式相場の上値が重くなる場面が予想されます。

	8月4日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
TOPIX (東証株価指数)	2,274.63	▲0.70%	▲1.38%	15.45%	17.81%
日経平均株価	32,192.75	▲1.73%	▲3.68%	17.02%	15.25%

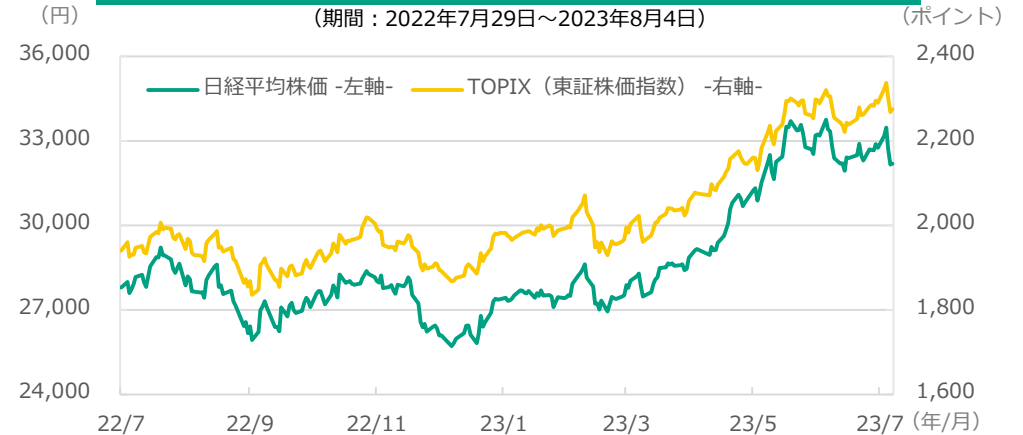
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

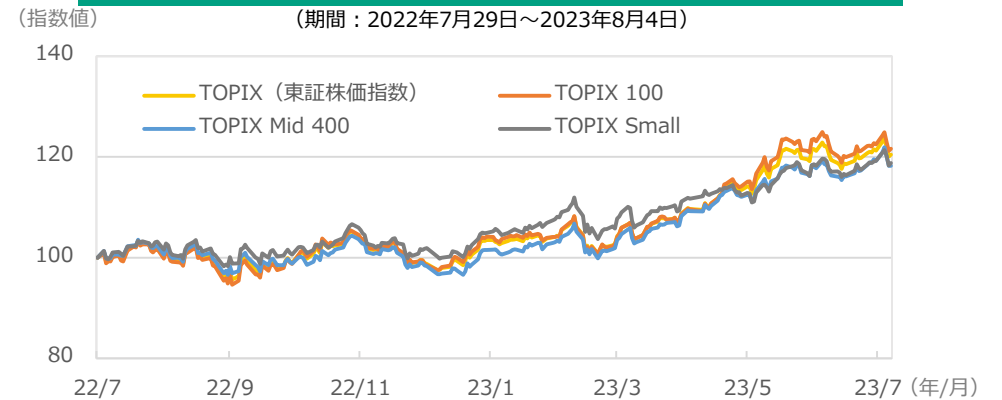
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202308_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目録見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し(総合)の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

日経平均株価、TOPIXの推移



TOPIX規模別指数の推移



※2022年7月29日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成